

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2021年7月17日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 新型コロナウイルス問題を契機に社会のあり方の転換を 北海道社保協第28回総会 オンライン同時開催

7月10日、北海道社会保障推進協議会第28回総会が、高教組センターを会場に行われ、オンライン参加も含め約70人が参加しました。

堺慎道社保協会長は、「5月からの新型コロナの爆発的感染拡大で、青壮年の患者在宅死が発生し、高齢者が医療を必要としても受け入れ困難とのことで往診対応せざるを得ない事態があり、まさにいのちの選択が北海道でも発生している」と国の無策と医療の脆弱さを指摘、その陰で、75歳以上の2割化法案などを採決した自公政権を批判しました。



### 総選挙で新しい社会へ 5つの課題を確認 5人が発言

2020年度のまとめと2021年度の方針（5つの活動）や役員体制案などを確認。討論では5人が発言しました。

①新型コロナウイルス感染によるいのちや暮らし、中小企業など経営、地域経済など深刻な問題を乗り越え、いのちと暮らしを最優先の社会に転換させることをめざします。

②25条をはじめ憲法を暮らしに活かし「憲法改悪・社会保障・規制緩和」に反対し、関係諸団体と共同して、消費税減税、国の責任による社会保障の拡充をめざします。

③国保都道府県単位化、地域医療構想、医療費適正化政策など、市町村の裁量を奪う攻撃が強まる中、市町村と一しょに誰もが暮らし続けられる自治体地域づくりをめざします。

④生活保護バッシングを打ち破り、孤立死や貧困をなくす取り組みをすすめます。

⑤当事者のたたかいに連帯し、共同の取り組みをひろげ社保協の組織強化をめざします。

#### 5人の発言

##### ■新型コロナ災害対策

道生連副会長・細川久美子さん

##### ■コロナ禍の介護現場の深刻な実態

勤医協福祉会・甲斐洋平さん

##### ■コロナ禍の中の中小業者の実態と運動

北商連事務局長・井上元美さん

##### ■北海道年金裁判の報告と課題

年金者組合道本部委員長・渡部務さん

##### ■医療・介護・保健所の削減やめて！

いのちまもる緊急行動について

道労連議長・三上友衛さん

### 記念講演「いのち優先の政治を」 大沢真理東大名誉教授



大沢真理東京大学名誉教授が、「いのち最優先の政治を 一新しい政権に求められる税と社会保障」と題して記念講演を行いました。

「コロナ禍以前から、正社員も低所得者は生活困窮していましたが、非正規雇用も含めて貧困層が拡大しています。世界的に見ても低所得者を冷遇している異例な状態。コロナ禍で、失職など所得が低下するのは子育て世代に集中して少子高齢化に拍車をかけています」と指摘しました。

「日本の保健医療体制が感染症体制から生活習慣病ヘシフトし結果、保健所や感染症棟が縮小・閉鎖に追い込まれ、パンデミックに対応できていない状態が続いている」と説明しました。

「日本は借金大国と言われていますが、課税努力は世界的に最低レベルで、税収をしっかりとるべき人や企業から税金を取っていないと話されました。自助、共助という方向性は菅首相ではなく、2012年から言われています。東アジアの中ではコロナでの死者は2番目に多く、それ以上に自殺者も多い、普通に働いて報われる社会になっていない」と、いのち優先の政治に変えていく必要性を強調しました。